

久美浜学舎 2023年スタート!



「すき」をカタチにする楽しい授業



「みらい」を一緒にみつけるサポート

生徒会活動



10月から2年生を中心とした新メンバーで始動した生徒会の活動が本格化しています。立会演説会では、各専門委員会と連携して活発な取組を考えたいと述べられていました。第一弾として1月には、保健委員会と合同で、生徒から募集したリクエスト曲を昼休みに流し、昼休みを楽しみながら換気を促す「リクエスト曲+換気キャンペーン」を企画しました。

久美浜学舎では、よりよい学校生活が送れるように、生徒会などが主体となって活動を進めています。

また、生徒指導部では12月末に「ありがとうを贈ろう Good Card Week」を実施しました。この取組では日頃の感謝の気持ちをカードに書き込み、掲示したり直接相手に贈っています。日頃の感謝を伝えるのと合わせて久美浜学舎の生徒のよいところを知るきっかけとなっています。



冬期講習

冬季休業中、各学年に合わせた形で冬期講習を実施しました。3年生では、各自で自主学習の計画表を作成し、自分たちの進路に向けた学習を進めました。2年生では、進学に向けた国語・数学・英語の講習を実施し、さらなる学力向上を目指しました。1年生では、今年度から導入されたタブレットを活用して、自宅から受講できるオンラインでの講習を実施しました。

久美浜学舎では、少人数であるメリットを生かしながら、それぞれの学習・進路に合わせたサポートを行っています。



百人一首かるた大会

1月18日(水)に多目的教室で、1年生「百人一首かるた大会」を開催しました。百首の暗誦が冬休みの国語課題でしたが、いざ札を目の前にすると、なかなか手が出ない様子でした。札が少なくなると、読み手の声に耳を澄ませる静寂と札を取った後の歓声が交互に沸き起こっていました。



部活動報告 (美術部)

■全国高校総合文化祭への出品が決定!

村尾蓮華さん(2年・加悦中)の作品が、第39回京都府高等学校総合文化祭への出品を経て、第47回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門への出品作品として推薦されました。村尾さんの作品は今年の夏に鹿児島県で展示されます。

今回の快挙は丹後緑風高校としてはもちろん、久美浜高校時代にもなかったことです。今後も夏の出品に向けてさらに高い完成度を求めて描き込んでいくということです。



■特殊詐欺防犯マグネットをデザイン

11月に京丹後警察から依頼されてデザインした特殊詐欺防犯マグネットが完成し、井尻和真さん(2年・久美浜中)、村尾蓮華さんが高龍小学校での配布式に参加しました。12月には京丹後警察より感謝状を贈呈していただきました。



久美浜学舎～僕らのリアル～

今回は、1月23日に開催した課題研究・探究活動発表会「みらいのタネ」に向けて、これまでがんばってきたことや苦勞したこと、身についたことなどについて聞きました。



アグリサイエンス科
佐々木 太一さん(3年・久美浜中)
「ソバージュ栽培について」



みらいクリエイト科
山形 はるなさん(2年・久美浜中)
「高校生は久美浜のどこで遊べばいいの?」

初めて自分たちで課題を取り上げて研究し、研究結果をグラフにまとめたり、グラフを読み取ったりとても大変でした。でもチームのメンバーと意見を出し合い、協力してできたので良いものになったと思います。元々まとめたりすることは苦手でしたが、この課題研究の授業を通して少しはまとめる力がついたのかなと思いました。大学に行ったとき何かをまとめたりグラフを作ったりする力は必要なことだと思うので、とても良い経験になりました。

私は「高校生は久美浜町のどこで遊べばいいのか」をテーマに探究を進め、今は「学生が行きたくなるイベント」を考えています。その中で久美浜には学生が遊びに行けるお店が少ないことがわかると同時に、今まで知らなかった久美浜を自慢できるようなお店を知ることが出来ました。今回の活動で、自分にとってどんな情報が必要で、それを入手するにはどうすべきか判断する力が身についたと思います。3年生の探究活動でも生かしていきたいです。



学校ホームページや公式Instagramでも様々な情報を発信しています。

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tangoryokufuu-hs/mt/kumihama/> Instagram @kumihama_gakusha



アグリサイエンス科通信



Top News

先進農業見学

THE 610 BASE



12月5日（月）京都府の「農と里を支える担い手育成事業」の取組の第3弾『先進農業施設見学』として、アグリサイエンス科1年生、2・3年生の生産コースの30名で、福知山市中六人部地区で廃校小学校を利用してイチゴ栽培を通し地域の活性化に励んでおられる「THE 610 BASE」様を訪問し、最新のイチゴ高設栽培施設を見学しました。担当の方からは、廃校になった小学校をリノベーションし今日の経営の安定に至るまでの3年間の苦労や、地域社会との農業施設を介した関わり、生産から加工・販売・サービスまでの6次産業化の挑戦など、幅広く「農業と田舎地域の新たな可能性や魅力」について幅広くお話を伺うことができました。また、地下水を利用し肥料管理にこだわるなど、丹精込めて栽培されておられる自慢のイチゴ摘みの体験・試食をさせていただきました。生徒からは、「大変大粒で甘く、こんなおいしい食べ応えのあるイチゴを初めて食べた。」などの感想が聞かれました。

食品コース わくわくKitchen④

12月8日（木）、紫野和久様から調理技術の基礎基本を教えていただく食品製造実習「わくわくKitchen」を実施しました。今回は、鶏の唐揚げ、薬味酢醤油和え、焼き飯、オニオンスープの中華料理3品を作りました。学習した後に家でも作れるよう美味しく調理するコツを教えていただきました。

今年度の最終回となる1月19日（木）実施のわくわくKitchenでは、これまで学習したことを活かし、自分たちでメニューを考えて調理しました。



生産コース 剪定講習会

12月6日（火）、3年生「果樹」の授業にて「剪定講習会」を開催しました。講師には、久美浜高校卒業生の日下部啓作様にお世話になり、ブドウとナシの剪定方法を学びました。日下部様には、年間を通して果樹の技術指導を、そして、10月には「農と里を支える担い手事業」にて「40年間の果樹栽培を通した農業振興、地域の活性化」と題した講演をお世話になりました。

生徒たちは、日下部様の的確な剪定技術とスピーディーな作業に感動していました。



みらいクリエイイト科通信



Top News

大学見学会を実施しました！



12月9日（金）にみらいクリエイイト科の1・2年生を対象に大学見学会を実施しました。今年度は京都産業大学と佛教大学を見学しました。大学の学部や入試などの説明を聞き、大学生にキャンパスを案内していただいたことで、改めて高校卒業後の進路について考える良い機会となりました。

生徒の感想より

- ◆大学の設備がとてもきれいで、広く迫力がすごかったです。学生さんに優しく校内を案内していただき、とても分かりやすかったです。科目の内容も違って、大学のすごさを知れました。授業を受けているところを見せてもらった時、講義をきくだけではなく、ペアワークなどあっていいなと思いました。
- ◆学部・学科の説明を聞いて、自分の興味があるものもあったので好印象をもてました。校内も広く、コンビニがあり、学食もあってすごくよかったです。高校とは全く雰囲気が違って、学生さんもののびのびして楽しそうでした。大学への興味がわきました。
- ◆学生さんにクイズを交えて構内を案内してもらいました。学生さんがクイズの内容を理解して覚えて説明されていたのがとても上手で驚きました。学校のつくりも興味深かったです。教室以外の勉強スペースがあっていいなと思いました。人数が多すぎないところも良いところだなと思いました。

2年生 福祉選択者

地域と連携したさまざまな取組

■12月14日（水）手話学習と交流

生徒は、講師の広岡茂行様の豊かな手話表現に驚くとともに、自分の手話表現が伝わる喜びも体験し、聴覚障害のある方への理解を深めました。

■12月21日（水）かがやきの杜（久美浜町）実習

午前は「さをり織り」「紙漉き」などの作業班で作業支援を学びました。午後はスポーツや創作活動などのサークル活動を仲間の皆さんと一緒に楽しみました。

